

「実質化された人・農地プラン」

〔注：本様式は参考ですので、地域の話し合いの結果に応じて、積極的に記載する項目を追加してください。〕

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
御宿町	実谷七本地区(実谷・七本)	令和5年2月13日	令和 年 月 日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	59.1ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	33.5ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	18.5ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	12.7ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	3.1ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	4.0ha
(備考) 70歳未満 11.1 ha 70歳以上後継者有 2.7 ha 遊休農地 5.2 ha	

2 対象地区の課題

実谷七本地区は、自然豊かな中山間地域にあり、水稻を中心とした農業が展開されている。現状の農地利用は、専業農家が少なく、兼業農家に支えられており、高齢化も進み、後継者となる担い手が不足している。農地の現状は維持して貸したいという希望が多いことから、担い手となる農業後継者の確保と育成、また、中山間地域であることから、効果的な農地の集約も課題となる。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

中心経営体に農地の集積・集約化を進める。
今後、後継者不足や担い手の高齢化が深刻化する前に地域内の担い手(農業者や農業法人)の後継者を育成するとともに地域外からも担い手を受け入れ、人材を確保する。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農法	〇〇〇〇〇	水稻	11.8 ha	水稻	15.8 ha	実谷七本
計	1人		11.8 ha		15.8 ha	

※中心経営体とは地域の農業で中心的な役割を果たす事が見込まれる認定農業者である。